ＮＥＷ

「令和４年度 全国自治会連合会広島県福山大会」が開催されました。

令和４年１１月１７日（木），ふくやま芸術文化ホールにおいて，全国より約５００名の関係者が出席し，互いに抱える課題を共有・理解し，解決に向けた研修や情報交換を目的として「令和４年度 全国自治会連合会広島県福山大会」が開催されました。

佐藤賢一会長（広島県自治会連合会会長）は主催・開催地を代表し，２度に渡る延期を乗り越え，開催できたことの感謝の念を述べました。

大会では「福山地区消防組合消防音楽隊」・「福山市消防団女性分団カラーガード隊」の盛大なオープニングを始め，大会宣言の採択，長年にわたり町内会・自治会で活躍された方々の表彰，「能楽師 シテ方喜多流 大島衣恵さんの記念講演」，活動発表が行われました。

式典の様子

佐藤会長　主催・開催地会長あいさつ

枝広福山市長 ごあいさつ

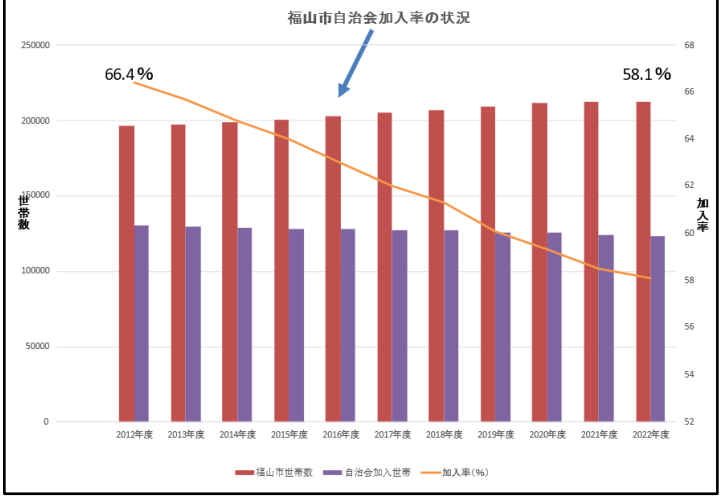
全国自治会連合会表彰受賞者
各ブロック代表

福山市自治会連合会 組織強化推進部会の取組

組織強化推進部会
部会長 横山　典好

1. 福山市自治会加入率について

自治会加入率について　2012年度～2022年度



2. 組織強化推進部会とは

組織強化推進部会について

経 過

2006年11月	強化委員会立ち上げ
2008年10月	加入促進パンフレット作成・配布 『あなたも自治会(町内会）に加入しませんか』
2009年 3月	自治会加入促進の研修資料作成
2011年 8月	加入促進月間設定　　毎年継続
2014年11月	自治会未加入世帯への取組に関する アンケート実施
2016年 9月	リニューアルパンフレットの作成・配布 『自治会・町内会加入のご案内』
2018年10月	福山市・自治会連合会と業者との三者協定締結
2020年10月	自治会連合会と老人クラブ連合会との協議

3.活動状況

組織強化推進部会について

2018年10月
福山市自治会連合会，不動産関係団体及び，福山市との
「自治会・町内会の加入促進に関する協力協定」の締結

目的
3者が連携し，一層豊かで明るく住みよいまちづくりを目指すため，福山市における自治会への加入促進に関して，相互に協力し，地域コミュニティの活性化に資すること。

内容
〇不動産契約時に自治会加入促進パンフレットの配布
〇自治会加入の窓口の紹介
〇開発事業者に対する自治会加入促進等の協力依頼など

組織強化推進部会について

3者の連携協力により，地域活動の中心的組織である自治会への加入を促進し，地域力向上と住みよいまちづくりを進める。

公益社団法人 広島県宅地建物取引業協会

公益社団法人 全日本不動産協会広島県本部

組織強化推進部会について　加入促進月間(8月～10月)

（Why）　なぜ勧誘活動を行うのか

自治会役員から未加入住民への直接声かけ
・自治会の存在と助け合いの重要性を知ってもらう

↓

これまで自治会役員からの勧誘を受けたことがない
・勧誘があれば加入してもよいという住民もいた

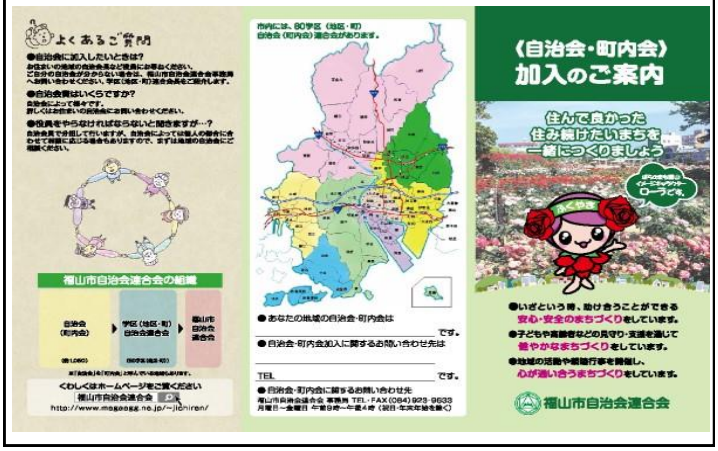
↓　↓

勧誘がないと、未加入者はそんなものかと判断し，加入しない。

ある自治会では各戸別訪問による勧誘強化した結果，新たに加入者が増加した。

組織強化推進部会について

リニューアルパンフレットの作成　2016年



組織強化推進部会について　加入促進月間(8月～10月)

（What）　加入促進月間の取組の課題等

1　加入促進には，個別訪問が最も効果的だということを共有されていない。　　※最後の砦？
2　訪問時にどのように勧誘したらよいのか，共有されていない。
3　訪問する役員側に，何のための訪問なのか共有されていない。
4　訪問する役員側も，会長一人に任せることでなく，組織的に対応することが求められている。
5　勧誘する内容として，加入促進パンフレットを始め，各自治会事業等，分かりやすい資料などの準備が必要。
6　新たに加入した住民の，具体的事例の検証を行い，全体的に共有していくこと。

組織強化推進部会について　加入促進月間(8月～10月)

（Do）今後やるべきことは

1　個別訪問のターゲット，自治会の目的ゴールの明確化。

2　加入促進に向けたマニュアルづくりや研修会の開催。

3　うまくいった事例紹介集や，説明時の訪問資料集の作成。

4　子育て世代へのアプローチが弱いため，たとえば、ＰＴＡ組織と一緒に地域活動を協働で行うなど、顔の見える関係づくりから加入促進につなげていく。

5　その他…各自治会での知恵をしぼった事業支援。
ＨＰの開設，のぼり旗の設置，地域行事での勧誘，就労世帯対策，高齢者対策等

自治会に求められること（加入月間のアンケートより）

【誰もが参加しやすい自治会活動・体制づくり】

◆「自治会は何のためにある組織か」を問いつつ，昔ながらのスタイルではなく，時代のニーズに沿った取組，事業を行うこと。
→お祭りなどのイベントだけでなく，防災・高齢者・子どもの見守り等の，地域福祉と防災活動への期待が高まっているのではないか。

◆負担軽減のための組織体制・事業の見直し
→①役員の負担の軽減…事業のたな卸し・見直し
②役回りの工夫…高齢者への免除規定の検討
③会費のあり方の工夫…独居老人等減額措置の検討
④行政からの依頼を減らす

自治会の可能性

「住みたいまち」と「住みたくないまち」

○「住みたいまち」の特長
・治安がよく安全性が高く，ゴミもない
・まちの雰囲気がよく居住快適性がある
・ファミリーの場合，子育て環境も重視される

○「住みたくないまち」の特長
・治安がよくない
・騒音や悪臭が気になる
・ゴミが多く，まちに清潔感がない

この「住みたいまち」に向け，安全性，快適性，利便性等を高めるため，これまで自治会が取り組んできたことですが、改めて強調すべき必要があるのではないでしょうか。

自治会のあり方

○見直し，改革をしなければ，自治会という社会資本が消滅する。
○不要なものの精査，アウトソーシング，負担の軽減，加入者へのインセンティブの検討。
○今後子どもたちへの地域の愛着を育み，まちづくりへの関心を持たせること。
○自治会は「地域を考える人」をつくること、そのために「新しい仕組み」をつくること。
○ホームページやＳＮＳ，ＩＣＴの活用

おわりに

福山市自治会連合会の目標

『自分たちのまちは　自分たちでつくる』

『いざというときに頼りになるのは
“地域の絆”です。』

『住んでよかった　住み続けたい』
まちづくりの実現をめざす。

豪雨災害の概要及び対応状況について

広島県福山市山手学区町内会連合会
会　長　杉原　均

１．　気象情報・降水量について

◎２０１８年７月気象情報

７月５日	・大雨警報	１２時３８分
	・避難準備/高齢者等避難開始	１８時００分
	・洪水警報	１９時４３分
７月６日	・避難勧告	１９時００分
	・避難場所開設	２０時００分
	・初の大雨特別警報	２１時３７分
	・避難指示発令	２１時５０分

◎２０１８年７月雨量状況（７月５日～８日の累計最大雨量）

松永町雨量計観測（７２時間）　　３９２．５m 観測史上１位

７月６日２０時００分～２１時００分　　１時間最大雨量　４３．０ml

２．被害状況

２０１８年７月の被害状況

床上浸水 - 約５００棟，床下浸水 - 約５００棟，車両の全損 - 約５００台

３．避難場所の状況

山手学区防災（避難）計画に，各町内会の公園や集会所（自主避難場所）を第１次避難場所として位置付けています。また，福山市広域避難場所として福山市立山手小学校・福山市山手公民館の２か所を指定していますが，２０１６年豪雨災害後に，垂直避難場所として山手小学校の校舎４階を水害の避難場所として追加指定しました。

○避難場所の開設状況

２０１８年７月	６日	２１時００分	山手公民館
	７月　７日	１時００分	山手小学校

４．広域避難場所への 避難状況と避難者 の対応

２０１８年７月の避難状況

避難者数　６５名

- ２０１８年７月の豪雨は，避難場所を開設した時には，すでに道路が膝ぐらいまで浸水していた中を住民が避難。
- その後も避難の問い合わせがあったが，１．４ｍぐらいまで道路が浸水した所もあったため，２階建ての住宅の人は２階部分に，平屋建ての人は速やかに安全な場所に避難するよう指示した。

２０１８年７月豪雨災害時の山手学区としての対応

◎福山市職員と共に対応

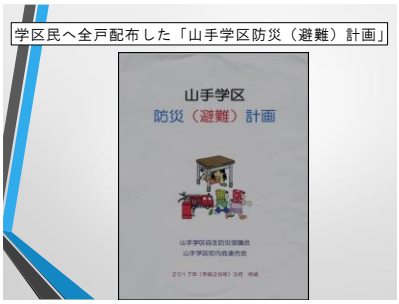
- 避難者の受付
- 避難された人に毛布等の配布
- 体調不良の人の救急車の要請

５．　山手学区町内会連合会の対応

①　２０１６年６月豪雨災害時の対応

◎山手学区災害対策本部を設置

日　　時　６月２４日から２５日まで
場　　所　山手公民館　実習室
本 部 長 山手学区町内会連合会会長
構成メンバー　各町内会長・団体長等１６名
協議した内容　・各町内会の避難・被害状況の収集
・浸水ゴミ集積場所の選定
・床上浸水の住宅の消毒について
・その他福山市と連携について



②山手学区の取組状況

◎山手学区総合防災訓練（学区民全対象）

場　　所　福山市立山手小学校体育館/グラウンド
実施内容　避難訓練・災害対策本部設置訓練・要援護者支援訓練・土のう作り体験訓練
煙体験訓練・AED 取扱訓練
炊き出し訓練・消火実験

◎備蓄資機材の充実

◎防災講演会を実施して住民の防災意識の向上に努　めた。

◎２０１７年３月山手学区防災（避難）計画を作成，全戸配布

③２０１８年７月豪雨災害時の対応

◎７月７日～７月８日

町内会長等役員は自宅で情報収集
・災害対策本部に使用予定の山手公民館が床上浸水
・道路の浸水被害が甚大で，山手公民館に集まることが不可能であった。

◎電話での協議内容

・各町内会単位の被害状況の調査内容の報告
・避難場所や避難者の対応
・土のう袋の配布
・浸水ゴミの集積場所の選定
・ボランティアの要望等
・その他　　福山市と連携

６．　山手学区浸水対策検討委員会設置

設置年月日　　２０１８年８月３日
名　　称　山手学区浸水対策検討委員会
設 置 場 所　山手公民館　会議室
委　員　長　　山手学区町内会連合会　会長
構成メンバー　各町内会長/民主団体長等２５名
委員会開催日　８月　３日，８月２９日

〇委員会で検証した内容

①　避難場所の課題について
福山市が広域避難場所として指定している場所が浸水地域内にある

②　浸水被害の原因・改善対策について
・福川の排水ポンプの能力不足の解消（排水ポンプの増強）
・郷分町の排水ポンプの能力不足の解消
・福川の河川改修
・福川の排水ポンプの管理の徹底等

〇浸水対策

検討事項について，広島県知事，福山市長に対して要望書を提出し改善対策を講じるよう要望した。